

・(3-1) 生涯学習課所管事業

1. 女性センター管理運営事業
2. 社会教育総務費（各種社会教育団体への補助）
3. 野々市市成人式
4. 生涯学習推進事業(学習情報提供事業)
5. 生涯学習推進事業(ののいち市民大学事業)
6. 生涯学習推進事業(生涯学習ボランティア支援事業)
7. 生涯学習推進事業(家庭教育推進事業)
8. 青少年活動支援事業
9. 少年育成センター運営事業
10. 野々市市立志式
11. 放課後子ども教室推進事業
12. 公民館施設管理費
13. 公民館学習活動支援事業(ののいちマナビィフェスタ)
14. 公民館学習活動支援事業(寿大学事業)
15. 公民館学習活動支援事業(フォルテ児童合唱団)
16. 公民館学習活動支援事業(地区公民館補助)
17. 子どもチャレンジ事業
18. 青少年健全育成地域活動推進事業
19. 富奥防災コミュニティセンター管理運営
20. 青少年情報メディア対策関連事業
21. 野々市中央地区整備事業（学びの杜ゾーン）（生涯学習課分）
22. （仮称）富奥地区防災コミュニティセンター建設事業
23. 図書館運営・管理事業
24. 読書活動推進事業

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		女性センター管理運営事業				所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	女性の社会参画事業の実施と活動を支援・推進する 拠点としての施設管理					
事業の内容	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動		平成26年度 活動実績	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込		
	成果指標	施設利用者		人	12,000	10,932	11,779	12,000		
		サークル数		団体	30	24	25	30		
事業のコスト	事業内訳	区分		平成25年度	平成26年度		平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)		6,185		6,059		6,140		
事業費計 (A) (千円)			6,185		6,059		6,140			

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)		・女性のための自主事業の実施 ・施設を利用したサークル活動の 推進	・女性のための自主事業の実施 ・施設を利用したサークル活動の 推進	・女性のための自主事業の実施 ・施設を利用したサークル活動の 推進

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	女性のニーズや社会状況にあった事業を企画することで、女性の活動を支援していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		趣味の講座だけでなく、知識や教養を高める講座の実施		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		社会教育総務費(各種社会教育団体への補助)				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務	
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業	
		1 社会教育の充実					単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
			事業開始	**	年度			
			終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	近隣大学や各団体と連携した社会教育の支援体制の充実を図り、市民が自主的、継続的な学習機会を得ることができ、学んだ成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築に努める。				
事業の内容	年4回の社会教育委員会を開催し、生涯学習の推進を図る。市内で活動する社会教育団体の育成と補助金の交付。		平成26年度 活動実績	◇社会教育委員会議の開催 4回 ◇各団体への補助金の交付 女性協議会 650千円、スカウト育成会 550千円 子ども会 1,000千円、PTA連合会 750千円				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	4,392	4,277	4,604			
事業費計 (A) (千円)	4,392	4,277	4,604					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	社会教育の充実のため各関係機関の代表や学識経験者の意見を聞くことは重要である。生涯学習社会の充実のため、社会教育団体の育成は重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		各社会教育団体が自立した運営ができるよう調査・検討を図る。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		野々市市成人式				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	新成人者の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを目的とする。					
事業の内容	アトラクション(20年のあゆみビデオ上映)、式典、記念写真撮影、実行委員の募集		平成26年度 活動実績	式典開催、実行委員会運営						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込		
	成果指標	実行委員会開催回数		回	10	6	7	10		
		参加率		%	—	39	39	40		
事業のコスト	事業内訳	区分		平成25年度		平成26年度		平成27年度予算		
		国庫支出金	(千円)							
		県支出金	(千円)							
		地方債	(千円)							
		その他	(千円)							
		一般財源	(千円)	815		781		840		
	事業費計	(A) (千円)	815		781		840			

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)		式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市として成人を祝うとともに、新成人が実行委員会を運営することによりまちづくりへの一助となっている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		県外から転入して、市内大学に通う成人者にも参加してもらえるような内容を検討する。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		生涯学習推進事業(学習情報提供事業)				所管	部	教育文化部
							課	生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務	
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業	
		1 社会教育の充実					単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備						
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
			事業開始	**	年度			
			終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務者に		事業の目的	各種公民館サークルの活動支援				
事業の内容	公民館サークル募集のチラシを全戸配布及び各公民館の来館者へ配布。		平成26年度 活動実績	公民館サークル募集チラシを全戸配布、及び各公民館来館者用へ配布。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	126	130	130			
事業費計 (A) (千円)	126	130	130					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)		・各種公民館のサークル情報の チラシの作成 ・作成したチラシの全戸配布及び 公民館来館者への配布	・各種公民館のサークル情報の チラシの作成 ・作成したチラシの全戸配布及び 公民館来館者への配布	・各種公民館のサークル情報の チラシの作成 ・作成したチラシの全戸配布及び 公民館来館者への配布

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市外より転入された方など、学びや交流の場を求める方よりサークル情報に関する問い合わせをよく受ける。本チラシの配布は市民からニーズがあるものと思われる。また、住民の自主的なサークルの運営を支援することで、生涯学習の推進につながると考える。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		チラシ以外でいかに情報を発信していくか。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		生涯学習推進事業(ののいち市民大学事業)				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務	
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業	
		1 社会教育の充実					単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市民が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	市内及び近隣大学と連携し、情報化や環境保全、地域文化の発信など社会の課題に対応した学びの場を地域住民に提供するとともに、一人ひとりの学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築を目指す。				
事業の内容	◇コミュニティ・カレッジ(市民の運営による教養講座) ◇マイ・タウン塾(町内会単位での講座) ◇ののいちネット塾(金沢工業大学と市で協力運営するネット上の学習サイト。市民が講師または受講者として学習に参加) ◇公開講演会(放送大学と連携した公開講座) ◇市民で構成する企画委員会を開催		平成26年度 活動実績	◇コミュニティカレッジ15講座(交流会を含む)、延べ436人受講、◇マイタウン塾1町内会、30人受講、◇公開講演会2講座、118人受講◇ののいちネット塾19講座開講◇企画委員会9回開催(委員数9名)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	参加者数(コミュニティ・カレッジ、マイタウン塾、公開公演会)	人	570	681	584	600	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	240	208	220			
事業費計 (A) (千円)	240	208	220					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会	コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会	コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会	コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 講座内容や形態について、社会の変化や市民ニーズを的確に捉えるよう企画していく。また、本事業の周知度を上げるよう周知方法を検討していきたい。
	B	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等) 市民への周知度が低いので、新たな周知方法について検討していきたい。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		生涯学習推進事業(生涯学習ボランティア支援事業)				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務	
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業	
		1 社会教育の充実					単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市民から近隣地域住民に		事業の目的	知能・技能・経験を有する地域の方を「学びのサポーター」として登録し、その活動の場を設ける。もって青少年の体験活動の機会の拡大・住民のまちづくりへの参画意識の向上・学社連携の強化を図る。				
事業の内容	・学びのサポーターの登録:サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用:「学びのサポーターと作る夏休み体験」各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。「地域人材活用助成」各小中学校での地域人材を活用した講座実施を助成。		平成26年度 活動実績	学びのサポーター登録者数:21名 学びのサポーターとつくる夏休み体験:地区公民館で各3講座実施、209名参加。 地域人材活用助成:市内小中学校で75回実施、5,002名参加				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	学びのサポーター登録・活用事業参加	人	3,000	3,763	5,211	300	
		学びのサポーター登録数	人	55	51	21	25	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	175	158	158			
	事業費計 (A) (千円)	175	158	158				

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用:地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用:地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用:地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	サポーター登録者、活用件数を増やすため市広報やHPなどで、当事業に関する情報提供を増やしたい。サポーターによる自主企画講座など、登録者が活動する場を検討していきたい。
	B	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		サポーターによる自主企画講座など、登録者が活動できる事業を検討したい。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		生涯学習推進事業(家庭教育推進事業)				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 4 学び合う、支え合う地域社会づくり				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育総合基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内保育園・小中学校に通う保護者に		事業の目的	少子高齢化や核家族化、地域の希薄化など、保護者や子どもたちがとりまく社会環境が変化する中、支え合う地域社会を目指して家庭、地域、学校の連携を強化しながら社会全体で子どもたちの成長を支援する。			
事業の内容	◆家庭教育学級<PTA>◆幼児家庭教育講座◆就学時子育て講座◆思春期子育て講座◆家庭教育サポーターの育成		平成26年度 活動実績	◆家庭教育学級<PTA>…小中学校 15講座 774人 ◆幼児家庭教育講座…保育園 13講座 451人 ◆就学時子育て講座…小学校の就学時検診 5講座 581人◆思春期子育て講座…中学校の入学説明会 2講座 467人 ◆家庭教育サポーター…保育園の「なかよしの日」で活動 回数62回(各園約5回ずつ)、人数126人				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	家庭教育学級への参加人数	人	900	874	774	800	
		家庭教育サポーター人数	人	35	25	20	26	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	748	883	923			
事業費計 (A) (千円)	748	883	923					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	↗
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	さまざまな機会を活用した家庭教育啓発。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。	さまざまな機会を活用した家庭教育啓発。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。	さまざまな機会を活用した家庭教育啓発。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	人格形成の基礎である家庭教育の充実を図ることは、青少年の健全育成、明るい豊かな社会を目指すうえで、最も重要なことと認識されつつある。更に啓発する必要があると考える。サポーターの養成・スキルアップ講座など、支える側の育成にも力を入れていきたい。また、ウェブでの情報発信などについても取り組んでいきたい。
	B	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等) 家庭教育に対して関心の低い保護者に対応した施策が必要。				

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		青少年活動支援事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	ボランティア活動、地域交流事業を通して社会・生活体験を深め、豊かな心と実践力を養う。					
	事業の内容	青少年ボランティア団体「ボランティア探検隊飛鳥」におけるボランティア活動、地域交流活動。		平成26年度 活動実績	介護・福祉施設でのボランティア体験およびイベント補助。花いっぱい運動への参加。募金活動。ジュニアボランティアガイド養成講座への参加。会員募集ポスター作りなど。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込		
	成果指標	ボランティア探検隊飛鳥 活動日数		日	20	7	9	9		
		ボランティア探検隊飛鳥 会員数		人	30	6	6	7		
事業のコスト	事業内訳	区分		平成25年度		平成26年度		平成27年度予算		
		国庫支出金	(千円)							
		県支出金	(千円)							
		地方債	(千円)							
		その他	(千円)							
		一般財源	(千円)	29		142		69		
事業費計	(A) (千円)	29		142		69				

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)		介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。募金活動。研修会、交流会など。	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。募金活動。研修会、交流会など。	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。募金活動。研修会、交流会など。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 本事業では、ボランティア活動や社会参加活動など、普段の学校生活ではなかなかできない体験が得られる。また、子どもたちがそれらの活動を自発的に取り組むことで養われる福祉精神や意識は、地域社会の基盤づくりにおいても非常に重要である。本事業は今後も継続したい。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等) 会員数の少ない状態が続いているため、活動の維持ができるよう新規会員継続的な獲得を図りたい。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		少年育成センター運営事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内店舗及び市民に		事業の目的	地域に密着した啓発活動及び巡視活動を行い、青少年の非行防止及び育成指導を図る。					
事業の内容	青少年の育成指導及び非行防止と健全育成事業。		平成26年度 活動実績	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込		
	成果指標	街頭巡視活動を行う人数		延べ人数	687	708	746	750		
		インターネット巡視活動を行う人数		延べ人数	170	159	186	180		
事業のコスト	事業内訳	区分		平成25年度		平成26年度		平成27年度予算		
		国庫支出金	(千円)							
		県支出金	(千円)							
		地方債	(千円)							
		その他	(千円)							
		一般財源	(千円)	6,217		5,444		5,619		
事業費計	(A) (千円)	6,217		5,444		5,619				

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	青少年を取り巻く環境は年々複雑さを増しており、それぞれに抱える問題も多様化している。その中において、子どもたちと直接関わる街頭巡視、インターネット上の青少年に関する問題を見回るインターネット巡視は、市内青少年の育成指導や非行防止に大きな役割を果たしている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		複雑化・多様化するインターネット環境や新たなサービスへの対応。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		野々市市立志式				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内在住の中学2年生に		事業の目的	人生の分岐点に立つ14歳の少年少女が、自ら志を立て、次代を担う者としての自覚と希望を持つための機会とする。			
事業の内容	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。		平成26年度 活動実績	講演会テーマ「ネット社会で大切なこと」				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	立志式出席者数	人	—	457	460	460	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	56	56	50			
事業費計 (A) (千円)	56	56	50					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	式典や講演会を通して、立志式の意義を知り、大人になることへの心構えについて改めて考える機会となっている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)				
	子どもたちの発達期に適したテーマ内容の検討。				

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		放課後子ども教室推進事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(3) 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法		事業の開始・終了年度				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～3年生に		事業の目的	放課後に地域の社会教育施設や小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境をつくる。					
事業の内容	◇野々市小学校放課後ふれ愛ルーム 毎週水曜日26名 ◇御園小学校放課後子ども教室 毎週水曜日19名 ◇菅原小学校放課後子ども教室 毎週金曜日28名 ◇館野小学校放課後子ども教室 毎週木曜日35名 ◇富陽小学校放課後子ども教室 毎週水曜日33名 ◇こどもセンター放課後子ども教室 毎週月曜日16名		平成26年度 活動実績	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込			
	成果指標	参加募集チラシ配布人数	人	1,200	1,000	1,200	1,200			
		参加人数	人	160	132	156	153			
事業のコスト	区分		平成25年度	平成26年度	平成27年度予算					
	事業内訳	国庫支出金 (千円)	675	655	735					
		県支出金 (千円)	674	655	735					
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	694	776	735					
	事業費計 (A) (千円)		2,043	2,086	2,205					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっティ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっティ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっティ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっティ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 多くの交流活動を実施することにより、学校の授業では教わらない貴重な体験をすることができた。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等) 地域ボランティアの人数が減少してきているので、新たな人材の発掘をしなければならない。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		公民館施設管理費				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務	
		3 生涯学習社会の充実					ハード・ソフト事業	
		1 社会教育の充実					単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備						
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
			事業開始	**	年度			
			終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	適切な施設管理運営を実施し、市民及び施設利用者に快適な施設利用環境を提供する。				
事業の内容	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営		平成26年度 活動実績	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	利用件数	件	5,700	5,186	5,316	5,500	
		サークル数	団体	78	70	70	74	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)			289	450		
		一般財源 (千円)	83,230	36,424	37,960			
	事業費計 (A) (千円)	83,230	36,713	38,410				

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・公民館(中央・野々市・富奥・郷・押野)の維持管理、運営 ・中央(野々市)公民館の建設は野々市中央地区整備事業で計画 ・押野公民館外壁等改修工事基本設計済	・公民館(中央・野々市・富奥・郷・押野)の維持管理、運営 ・中央(野々市)公民館の建設は野々市中央地区整備事業で計画 ・押野公民館外壁等改修工事基本設計済	・公民館(中央・野々市・富奥・郷・押野)の維持管理、運営 ・中央(野々市)公民館の建設は野々市中央地区整備事業で計画 ・押野公民館外壁等改修工事基本設計済

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市内、市外住民等問わず幅広い利用があり、今後も適正かつ計画的な維持管理・運営が必要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		・野々市中央地区整備事業関連の計画・調整(中央(野々市)公民館の建設・引越しなど) ・押野公民館外壁等改修工事の実施(基本設計済)		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		公民館学習活動支援事業(ののいちマナビィフェスタ)				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	生涯学習社会の実現に向け、生涯学習活動の啓発と発表の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、生涯学習への意欲を高めると共に参画を促し、生涯学習の一層の振興を図る。				
事業の内容	中央公民館、文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを実施		平成26年度 活動実績	◇中央公民館:サークル展示、イベント、模擬店ほか ◇文化会館:芸能民謡祭、音楽祭、茶席、芸術文化協会作品展ほか◇カメラ:美術文化協会展、チャリティダンスパーティ◇郷土資料館:展示、芸能鑑賞会				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	マナビィフェスタ音楽祭、芸能民謡祭参加者数	人	800	583	636	700	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	1,200	1,200	1,261			
事業費計 (A) (千円)	1,200	1,200	1,261					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	↗
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	生涯学習の活動を行っているサークルや協会の方々など、発表の場と機会を提供する意味で、有効な事業であり、活動の励みになっているので、工夫しながら継続していく。		生涯学習の活動を行っているサークルや協会の方々など、発表の場と機会を提供する意味で、有効な事業であり、活動の励みになっているので、工夫しながら継続していく。	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	開催期間を10日間前後に短縮し、内容の濃い事業にすることが必要。
	C	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		各サークルや協会の方以外の集客拡大		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		公民館学習活動支援事業(寿大学事業)				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】 3 高齢者と障害のある方の福祉の推進 3 いきいきとした高齢期の実現		重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が60歳以上の市民(大学校)、寿大学の修了者(大学院)に		事業の目的	熟年者が明るく豊かで生きがいのある生活を送るため、高齢社会における課題を把握し、学習活動を通じて知識や教養を身に付けること。また、生涯学習の推進と仲間とのふれあいの場をつくること。				
事業の内容	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座を開講する。 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチピラティスの8コースに分かれて自主的に専門的な学習を行う。		平成26年度 活動実績	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座を開講する。 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチピラティスの8コースに分かれて自主的に専門的な学習を行う。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	大学校受講者数	人	42	46	50	50	
		大学院受講者数	人	195	136	186	187	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	1,500	1,500	1,500			
	事業費計 (A) (千円)	1,500	1,500	1,500				

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	↗
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 ・寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチピラティスの8コースの実施	・寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 ・寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチピラティスの8コースの実施	・寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 ・寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチピラティスの8コースの実施	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 寿大学校・大学院の開設は、熟年者や高齢者の生涯学習活動へのきっかけ作りである重要な事業であるため、授業のマンネリ化を防ぎ、新たな講師を招くことを考えている。
	C	B		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等) 今後事業の企画運営に市民の参画が必要と考える。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		公民館学習活動支援事業(フォルテ児童合唱団)				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～6年生(中・高校生も可)に		事業の目的	コーラスを通じて色々な歌に親しみ、情緒豊かな感性を養うとともに、学校や学年を超えた仲間作りを行う。				
事業の内容	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場		平成26年度 活動実績	定例活動日時:毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他:施設慰問、白山市青少年声楽コンクール参加、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	団員数	人	50	24	24	33	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	300	250	200			
事業費計 (A) (千円)	300	250	200					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 児童合唱団などのジュニアの文化・芸術団体の文化活動推進は、健全育成活動において重要である。委託事業でなくなった場合、合唱団の存続が危ぶまれることから、保護者会の発足による自立を促しつつ、当面は公民館事業として継続していく。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等) 今後も安定した団員の確保するために募集案内及び活動内容の充実、保護者会の設立など組織運営の強化を図る。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		公民館学習活動支援事業(地区公民館補助)				所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務		
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業		
		1 社会教育の充実					単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
		事業開始		**		年度			
		終了予定		**		年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	地域の連帯及び生涯学習意欲の向上を目指し、各地区公民館を活動の拠点として、地域に根ざした種々の行事、教室等の場を提供することにより、地域住民のより一層の向上を目指す。					
事業の内容	地区の公民館では、運動会、教養講座、レクリエーション及びふるさと教育等を実施し、地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。		平成26年度 活動実績	野々市公民館 13事業/503人 運動会/雨天中止 富奥公民館 10事業/353人 運動会/雨天中止 郷公民館 13事業/621人 運動会/1,130人 押野公民館 17事業/824人 運動会/960人					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込		
	成果指標	数値指標の設定になじまない							
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算				
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	4,500	4,150	4,500				
事業費計 (A) (千円)	4,500	4,150	4,500						

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	運営審議委員などの意見を参考にしながら地域に根ざした事業を実施していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		事業のマンネリ化を避けるため、運営審議委員や事業推進委員などの意見を取り入れ市民ニーズを反映した事業を企画する。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		子どもチャレンジ事業				所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務		
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業		
		1 社会教育の充実					単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
				事業開始	**	年度			
				終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学生に		事業の目的	人間性豊かな青少年の健全育成を図るため、地域の人々の協力を得ながら子どもたちに体験の場と機会を提供する。					
事業の内容	◇青少年自然体験:自然の中での体験教室の開催		平成26年度 活動実績	◇自然体験(2回 延べ40名)					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込		
	成果指標	数値指標の設定になじまない							
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算				
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	200	200	0				
事業費計 (A) (千円)	200	200	0						

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	公民館事業を含め、事業内容を精査しながら、地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	公民館事業を含め、事業内容を精査しながら、地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	公民館事業を含め、事業内容を精査しながら、地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	公民館事業を含め、事業内容を精査しながら、地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	子どもたちの生きる力を育み、人間性豊かな青少年の育成が求められる中で、様々な体験の場と機会を提供することは有効な事業である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		地域の公民館と情報交換しながら協力していただける人材を確保する。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		青少年健全育成地域活動推進事業				所管	部	教育文化部
							課	生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ハード・ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	家庭、学校、青少年育成関係団体及び地域住民が一体となり、地域に密着した啓発活動・実践活動を展開し、青少年の健全育成活動の推進を図る。			
事業の内容	地域の社会環境や青少年の実態に対応した青少年健全育成事業。(“ののいちっ子を育てる”市民会議へ委託)		平成26年度 活動実績	愛と和のひと声運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	子どもと大人のまちぐるみ美化清掃参加者	人	12,000	8,155	10,075	10,000	
事業のコスト	事業内訳	区分		平成25年度	平成26年度	平成27年度予算		
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	1,500	900	900			
事業費計 (A) (千円)	1,500	900	900					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	愛と和のひと声運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。		愛と和のひと声運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 少子化や核家族化などの広がりにより、地域連携の薄れや地域住民とふれあう機会の減少が指摘されるなか、市内の各種団体・機関で構成された市民団体の地域活動への支援は、青少年健全育成活動をすすめるためには欠かせないものとなっている。こうした地道な啓発事業は継続することが重要である。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等) 「愛と和のひと声運動」や「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」などの趣旨の理解を促す必要がある。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		富奥防災コミュニティセンター管理運営				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	3 安心とぬくもりを感じるまち【安全安心】				区分	自治事務	
		2 消防と救急体制の充実					ハード・ソフト事業	
		2 避難場所、防災用備蓄の充実					単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	該当なし						
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度	
						事業開始	平成26	年度
						終了予定	**	年度
実施根拠となる 分野別計画	市地域防災計画	根拠法令	災害対策基本法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	防災施設の充実を図る。				
事業の内容	防災施設の維持・管理運営、防災関連事業の実施		平成26年度 活動実績	防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)			517	660		
		一般財源 (千円)			5,633	6,423		
事業費計 (A) (千円)	0	6,150	7,083					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)		・防災コミュニティセンターの維持管理・運営 ・防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施	・防災コミュニティセンターの維持管理・運営 ・防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施	・防災コミュニティセンターの維持管理・運営 ・防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	—	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)			
	適切な保全・維持管理をし、効率的な活用を図る。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		青少年情報メディア対策関連事業				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市内の青少年を有害情報から守り、情報社会における正しい判断力と生活習慣を養うことができるよう、各団体及び機関の自立的な取り組みを支援し、家庭・地域・学校の連携を促すための連絡調整を行う。			
事業の内容	青少年のメディア問題に関する啓発活動、実践活動を展開し、健全育成活動の効果的な推進を図る。		平成26年度 活動実績	保護者向けメディアリテラシー講座の開催 ネット被害啓発チラシ等作成 先進地視察研修 情報メディア小・中学校教員研修 Web巡視担当者研修				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	保護者向け研修会参加者	人	200	—	150	200	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)		600	600			
事業費計 (A) (千円)	0	600	600					

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 子どもや保護者がスマートフォンやネット関連機器について学習し、これらに潜む危険性から子どもを守る必要があるため。
	—	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等) ゲーム等をはじめとするネットに接続できる機器を使用する子どもの年齢が低下してきている。保護者にネット問題を早い段階で理解してもらう必要がある。			

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		野々市中央地区整備事業(学びの杜ゾーン)(生涯学習課分)				所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務		
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業		
		1 社会教育の充実					単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
			事業開始		平成26		年度		
			終了予定		平成26		年度		
実施根拠となる 分野別計画	野々市中央地区土地利用構想		根拠法令	社会教育法、図書館法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	全体整備計画(構想)のうち、民間事業者の持つ活力を活用して実施する「学びの杜ゾーン(旧県立養護)」の再興を行うために必要となる、VFM算定、実施方針策定、要求水準書策定、事業者選定等に関する業務委託料等を計上するもの。					
事業の内容	①(仮称)新市立図書館・市民学習センター検討委員会開催 ②先進的図書館・複合施設の視察 ③「新図書館を考えるフォーラム」の開催		平成26年度 活動実績	なし					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない							
事業のコスト	区分		平成25年度		平成26年度		平成27年度予算		
	事業内訳	財源内訳	国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	0	579	0				
事業費計 (A) (千円)	0	579	0						

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・平成26年度に事業完了		・平成26年度に事業完了	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	平成26年度事業による。(単年度事業)
	—	—			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		該当しない。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		(仮称)富奥地区防災コミュニティセンター建設事業				所管	部	教育文化部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	3 安心とぬくもりを感じるまち【安全安心】		重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務			
		1 防災対策の充実				ハード事業			
		2 公共施設と住宅の耐震化促進				単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	該当なし							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
					事業開始	平成25	年度		
					終了予定	平成26	年度		
実施根拠となる 分野別計画	市地域防災計画		根拠法令	災害対策基本法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	防災施設の充実を図る。					
事業の内容	防災施設の建設・整備		平成26年度 活動実績	完成(平成26年11月14日)					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない							
事業のコスト	事業内訳	区分		平成25年度		平成26年度		平成27年度予算	
		国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)	317,500		187,100			
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	70,516		108,201			0
事業費計	(A) (千円)	388,016		295,301			0		

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	平成26年度に事業完了	平成26年度に事業完了	平成26年度に事業完了

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	平成25年度・平成26年度事業によるもの(事業完了)
	C	—			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		該当なし		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		図書館運営・管理事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務			
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業			
		1 社会教育の充実					単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
				事業開始	**	年度				
				終了予定	**	年度				
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	図書館法							
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務・通学の方に		事業の目的	利用者が必要とする多様な資料や情報の提供ならびに市民の読書を推進する。						
事業の内容	資料の収集、整理、提供、図書の貸出・返却等業務。レファレンスサービス。移動図書館車の運行。学校図書館の支援及び連絡車の運行。図書館だよりの発行。		平成26年度 活動実績	野々市市子ども読書活動推進計画(第二次)策定、新図書館を考えるフォーラムの開催、図書館協議会、図書展示、移動図書館車の運行、学校連携事業、市司書事務連絡会、チャリティ古本市						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込			
	成果指標	貸出冊数	冊	—	94,962	93,272	95,000			
		貸出人数	人	—	29,273	28,697	30,000			
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算					
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	20,988	18,247	16,821					
	事業費計 (A) (千円)	20,988	18,247	16,821						

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	新図書館移転に向けた準備 ・蔵書整理 ・除籍作業	新図書館移転準備 11月に開館する新図書館の管理運営を行う民間事業者による本事業を移行する。また開館以降の事業費は未定である。	民間事業者による図書館運営となる。行政職員は市の計画の遂行及び図書館協議会の開催や研修会等に参加する。 (新図書館は民間事業者による管理運営となるため、事業費は未定である。)	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	現図書館における図書の新鮮さを保ちつつ、新図書館に向けた蔵書の整理を重点的に行っていく。
	A	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		新図書館に向けた準備や打ち合わせ等で、通常の図書館業務における職員不足が懸念される。		

平成27年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成26年度実施事業分)

行政評価

事務又は事業の名称		読書活動推進事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務			
		3 生涯学習社会の充実					ソフト事業			
		1 社会教育の充実					単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
				事業開始	**	年度				
				終了予定	**	年度				
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画 野々市市子ども読書活動推進計画	根拠法令	子どもの読書活動の推進に関する法律							
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が ①7カ月児とその保護者に(ブックスタート) ②3歳児に(読み聞かせ) ③幼児～低学年児童に(おはなし会) ④10代の若者に	事業の目的	子どもが自ら進んで読書を楽しむようになること。 子どもを取り巻く社会全体が連携して子どもの読書を 支えること。 読書の楽しさを推し進めることができるボランティアの 育成と活用。							
事業の内容	読書の大切さを伝える。 子どもと絵本を読むことの楽しさや大切さを体験を通し て親子に知ってもらう。 ボランティアの育成と活用。	平成26年度 活動実績	野々市市子ども読書活動推進計画(第二次)策定、お はなし会、ブックスタート、絵本や紙芝居の読み聞か せ、ボランティアの育成と活用							
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度見込			
	成果指標	活動日数(ブックスタート)	日	24	24	24	24			
		参加親子(ブックスタート)	組	-	656	635	640			
事業のコスト	事業内訳	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算					
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	573	608	566					
	事業費計 (A) (千円)	573	608	566						

実施計画

年度計画	区分	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 野々市市子ども読書活動推進計画(平成27年度～31年度)に基づく事業の実施 ボランティアの育成と活用 新図書館事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 野々市市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 11月に開館する新図書館の運営を行う民間事業者に移行する。また開館以降の事業費は未定である。 	野々市市子ども読書活動推進計画に基づく事業(「ののいち子ども読書の日」事業など)の実施(新図書館内は民間事業者による運営となるため、事業費は未定である。)	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	郷・押野公民館、富奥防災コミュニティセンター、女性センターの図書室の活性化と利用促進を目的とした図書館ボランティアの活動が開始したことで、貸出冊数及び貸出人数が大幅に増加した。
	A	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		野々市市子ども読書活動推進計画に基づく市全体での事業推進を図っていく。市民とともに新図書館を育て盛り上げていくための、ボランティアの育成や活用について検討をしていく。		

・(3-2) 学識経験者からの意見

公民館運営については、施設が建替計画、改修等なされている中、地域のニーズや課題を反映された事業を展開していくためには、さらに正規職員の配置が望ましいと思います。

地区公民館で子ども対象のそろばん、習字教室など行っているが、他にも子ども対象の教室を開催できないか検討して頂きたいと思います。

市民大学校事業は、市民に多様な学習機会を提供する事業として評価します。今後、より多くの市民が参加できるよう、開催方法や周知方法の改善を図っていただきたいと思います。

ののいちマナビィフェスタは、市の生涯学習の発表の場として定着しています。この事業に市民の参加や来場者が一層増えることを期待します。

学びのサポーターをはじめとする地域人材の活用については、児童生徒が地域を知る大変良い機会となります。人材のデータベースの充実と学校等での活動機会の充実を図っていただきたいと思います。

子育て世代が多い本市においては、家庭教育事業が大変重要だと思えます。家庭教育学級講座の充実や家庭教育サポーターの育成を進め、市民全体の問題として周知していただきたいと思えます。

“ののいちっ子を育てる”市民会議が提唱する「愛と和のひと声運動」や「まちぐるみ美化清掃」、「メディア対策事業」は、地域ぐるみの健全育成活動として定着しています。今後も、子ども会やスポーツ少年団など青少年団体と連携を強め、さらなる充実を図っていただきたいと思えます。

・(3-3) 今後の方針

- ① 公民館主事の人事改善については、今後も努力していきます。正職員の配置は、当面難しいと思われませんが、公民館主事の資質向上を図るとともに、主事の公民館異動を行い、公民館業務の向上と均質化を図ります。
- ② 子ども対象の教室については、事業の公益性や公開性を確立しながら、そろばん、習字以外の教室も広く取り入れるよう制度化していきます。
- ③ 市民大学校事業は、平成27年度から名称を「コミュニティカレッジ」に統一したり、昼と夜の2コースにするなど事業の見直しを行ってきました。今後、広報活動を強化し、多くの市民に周知できるよう改善を図ります。
- ④ 学びのサポーター他人材活用事業については、活用方法や人材のデータベース化の調査・研究を行い、生涯学習施設及び学校支援のボランティアなどをコーディネートする体制づくりを検討していきます。
- ⑤ 家庭教育事業の充実は、学校教職員の負担軽減、地域の教育力の向上を図るうえで重要な課題であります。広範囲な啓発を目指す講座だけでなくリーダー育成を目指す講座の開設によって家庭教育力の底上げを図ります。また、まちぐるみで家庭教育を支援する体制づくりや啓発活動のあり方を検討していきます。
- ⑥ “ののいちっ子を育てる”市民会議が約30年間行っている青少年健全育成活動は、本市の教育活動の基盤となっております。今後も、活動が停滞することなく発展していくよう、関係者との協議を継続的に行います。